



新しい職員が増えました！

新型コロナウイルスの対策に追われているよつ葉生協ですが、今週は組合員の皆さんに嬉しいニュースをお届けします！今年度、よつ葉生協に新しい仲間を2名、迎えることができました。



4月1日に入協式を開催！

今年は、多くの企業で新型コロナウイルスの影響を受け、入社式などが中止・延期の措置が取られています。よつ葉生協でも、少人数での入協式となってしまいましたが、若い仲間の新たな門出を心から祝うとともに、2人の真剣な眼差しに身の引き締まる思いを強く感じました。

よつ葉生協が持ち続けてきた「いのちと健康 くらしを守る」という理念を、次世代の多くの仲間繋いで、持続可能な社会をつくるために一緒に頑張っていきましょう！

<理事長 倉持>

只今、研修中！



【組合員さんへ一言】

私の家庭では、私が幼い頃からよつ葉生協の商品が食卓に並んでいました。私も組合員様の生活が、よつ葉生協のサービスによって豊かになる様に、安心安全な暮らしのサポートがしたいと思っています。宜しくお願い致します。

高橋美香さん

●趣味 旅行、運動



【組合員さんへ一言】

こんにちは、新入社員の坂田準です。4年間看護学を学び、実習体験などから病院以外でも活かせるのではないかと考えよつ葉生協に入社しました。まだ、わからないことが多く不安もありますが、組合員さんの役に立てるよう全身全霊で頑張ります。

坂田準さん

●趣味 バasketボール、ラーメン巡り、ゲーム

新型コロナウイルスの感染予防対応として「置き配」のご案内をしています

ご在宅時でも、「直接対面での商品受け取りを避けたい」とのご意見を、多数いただいています。組合員と配送スタッフを感染から守るために、商品箱の直接の手渡しは控えています。対面での商品受け取りを避けたい場合は、「置き配」をご利用ください。

「置き配」では、商品箱を玄関先や指定場所に置かせていただきます。

*4月21日からお届けしている 《置き配のご案内》で配送員にお知らせください。

提出いただきました翌週から対応していきます。

*原則として、通い箱は次週まで保管し、次週配送でお返しくください。



通い箱保冷カバー
(安心資材)を
ご希望の方に
販売しています。

*カバーは随時購入可能です。
配送担当者にお申し出ください。

Aタイプ価格

1枚600円(税込660円)

(2枚以上ご注文の場合1枚500円(税込550円))

<組合員組織部>

種苗法の改定で農家は自家採種できなくなる？①

2020年3月3日、種苗法の一部を改定する案が閣議決定されました。この4月に審議入りの予定でしたが、コロナ禍のさなか、拙速な審議がはかられそうだとの情報がありました。日本の農業の根幹に関わる重要な案件について、十分に審議しないとはどういうことでしょうか。

種苗法の改定は、「農業競争力強化支援法」(2017年施行)、「主要農作物種子法(種子法)」廃止(2018年)の流れに続くものです。よつ葉だよりでは、何度か種子法を取り上げてきましたが、今回はこの種苗法の内容についてお伝えします。

Q1 種子法と種苗法って、どう違いますか？

A1 対象とする作物と目的が違います。

	対象の作物	目的
種子法 主要農作物種子法	稲、大麦、はだか麦、小麦、大豆	左記作物の優良な種子の生産および普及を国の役割と定める
種苗法	植物(花や農作物など)の新たな品種	品種の育成者の知的財産権の保護 品種の育成の振興と種苗の流通の適正化をはかる

Q2 自家増殖ができなくなるって、どういうことですか？

A2 小学校でアサガオを育てると、次の学年のために種を採って保存しますね。このように次に殖やすために種を採っておくこと、または苗を採ることを自家増殖(自家採種)といいます。今回の種苗法の改定では、「登録品種の作物」を自家増殖するときは、許可を得る「許諾制」が盛り込まれ、許諾料の支払いが生じることになりました。在来種や登録品種でない品種、家庭菜園に使う種苗などは、対象ではありません。

品種の育成者の権利を守るという国際的な流れがあり、1998年の全面改正では植物の新たな品種の育成者は諸権利を専有できるといふ、現在の種苗法になりました。著作物に対し、著作権が及ぶのと同じ考え方です(育成者権も著作権も、知的財産権のひとつ)。

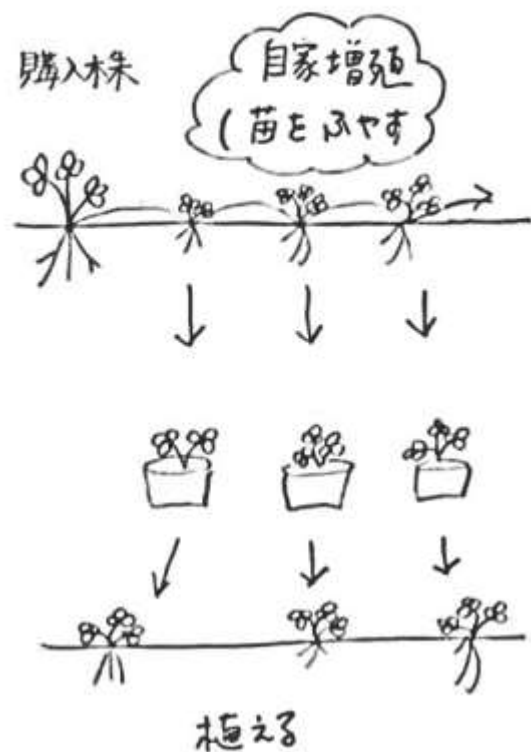
これには例外が認められていました。一つは試験研究目的、もう一つが農家による自家採種です。農家は、作物を栽培するにあたり、自家増殖によって翌年の種を確保するとともに、種苗の購入の手間と費用を抑えています。これらを農家の権利として守ることが農作物の安定供給につながるという考え方から、例外的に農家の自家採種が認められてきました(21条2項)。わたしたち消費者もそのおかげで、安定的な価格で農産物を食べるできています。

Q3 もともと自家増殖は許されてきましたね？

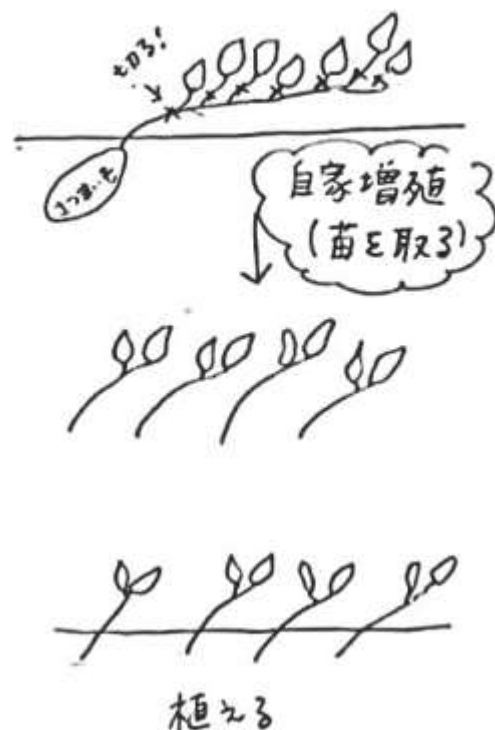
A3 自家増殖は、昔から農家が次の年の作付けに備えて、種を採り苗を殖やし、接ぎ木をするなどして、慣行的におこなわれてきました。種苗法は、前身が1947年に策定された農産種苗法で、優良な種子や苗の入手を農家に保障するものでした。何度か改正され、

今後は、「種苗法が改定されるとどんな問題が起こるの？」などについてお伝えします。
(理事 三輪)

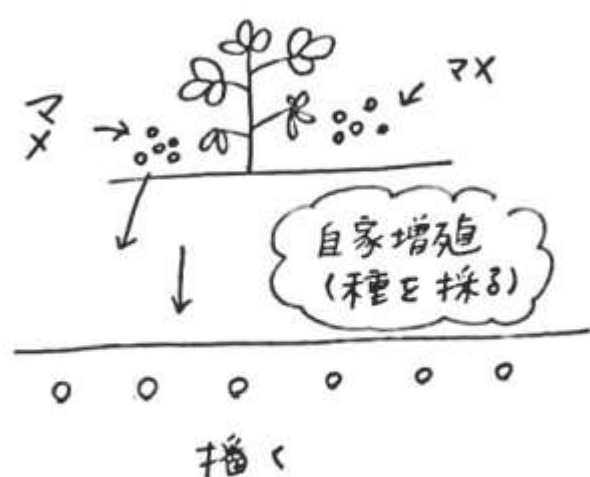
イチゴ



いも(わまいもの場合)



マX類



今後、このような自家増殖ができなくなります



「震災孤児を支援する募金」の お礼状とお便りをいただきました。 ご紹介します。

拝啓 陽春の候、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

本県の県政運営につきましては、日頃格別の御理解を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、お申し出のございました東日本大震災による震災孤児等の支援のための寄附金につきましては、心から感謝申し上げます。ありがたく、お受けいたしますとともに、被災した子どもたちの支援のため有効に活用させていただきます。

私も、ふるさと宮城を再興するため、県民の皆様と共に手と手を携えて全力で震災復興に取り組んでまいっている所存です。

今後とも、県政の推進につきましては、御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

令和2年4月8日

よつ葉生活協同組合
理事長 倉持 まゆみ 様

宮城県知事 村井 嘉浩

よつ葉生活協同組合 様
拝啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は若手県政について、格別の御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

また、この度は、若手の支援のために多額の御寄附を賜り、誠にありがとうございます。

御寄附は、御趣旨に沿って、被災地の子どもたちの就学の支援、教育の充実などに適切に活用していく所存でございます。

東日本大震災津波の発災から九年が経過いたしました。県では、皆様からいただいた励ましを糧に、県民とともに力を合わせ、復興に取り組んでまいりますので、今後とも御支援、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ここに、この度の御厚情に対し書中をもちまして御礼のごあいさつを申し上げます。

令和二年四月一五日
若手県知事 達増拓也
敬具

いわて復興だより

復興に向けて歩み続ける若手県政の今を紹介します
平成23年3月11日に東日本大震災津波が発生しました。発災以来、国内外から多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げます。この「つながり」を大切にしていきたいと思っております。復興に向けて歩み続ける若手県政の今を紹介します。

がんばろう！岩手 つながろう！岩手 第159号 令和2年3月号

あの日から9年 東日本大震災津波 岩手県・釜石市合同追悼式



平成23年3月11日午後2時46分、日本周辺での観測史上最大（発生時点において）となるマグニチュード9.0の巨大地震が発生しました。この地震により岩手県沿岸にも、最大浸水高18m以上（釜石市）、最大遡上高（津波が陸上を遡り上がった最高地点）40m以上（大船渡市）の津波が押し寄せました。

その痛ましい震災から9年を迎えた令和2年3月11日（水）、「東日本大震災津波岩手県・釜石市合同追悼式」が釜石市民ホール（同市大町）で執り行われました。

新型コロナウイルスの感染防止対策のため、規模を縮小しての開催となり、国や県、市の関係者、ご遺族など135人が参列しました。

会場では、地震が発生した午後2時46分に参列者全員が黙とうをし、犠牲となった方々へ哀悼の誠を捧げました。

達増知事は、「犠牲になられた方々のふるさとへの思いを受け継いで、この東日本大震災津波の事実を踏まえた教訓や復興の姿を後世や国内外の人々に伝えながら、復興を進めていかなければなりません。これからは、復興の歩みは続いていきます。失われた尊い命は還ることはなく、災害の衝撃やこころの傷はたやすく癒えるものではありませんが、私たちは、個人の尊厳を基本的価値とし、誰一人として取り残さないという理念のもと、一人ひとりがお互いに支え合いながら幸福を守り育てるための取組みを進め、「いのちを守り 海と大地と共に生きる ふるさと岩手・三陸の創造」を目指して復興を進めることをお誓いいたします。」と復興への誓いのことばを述べました。

また、野田釜石市長は「市民一人ひとりが東日本大震災からの復興を実感することができるよう、令和2年度の復興完遂に全力を尽くしてまいります。夢と希望を持って生き生きと暮らせるまち釜石の実現に向け、引き続き決して諦（た）むことなく、屈することなく復興の道を進んで参ります。」と述べました。

ご遺族を代表して、父親を亡くされた澤田龍明さんが「遺族一人ひとりにそれぞれの長い3,300日があると思います。まだまだ引きずって生活している遺族もたくさん居ると思います。とにかく、この災害を大きな教訓として、尊い命を守ることを優先とした対応が、ここに眠る御霊への最大の恩返しとなることは間違いないと思います。」と追悼のことばを述べました。

その後、参列者は献花台に白菊を手向け、犠牲になられた方々に思いを寄せました。



謹 啓 陽春の候、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

このたびは、震災孤児等への支援のため心温まる寄附をお寄せいただき、福島県民を代表して心から御礼申し上げます。

お寄せいただいた寄附金につきましては、被災した子どもたちを長期的、継続的に支援していくために、有効に活用させていただきます。

震災以降、国内外からいただいた多くの御支援に、福島県民は助けられ、励まされ、勇気をいただきました。

風評と風化の2つの逆風など、福島の復興はいまだ途上にあります。皆様からの温かい御支援と県民の皆さんの懸命な努力によって、県内各地から復興の光が少しずつ見えてきました。

本県に心を寄せてくださる全ての方々との力を合わせて、この光を大きな輝きに変え、希望と笑顔に満ちあふれた「新生ふくしま」に向けて粘り強く歩んでまいりますので、今後とも御理解と御支援をお願いいたします。

このたびの温かい御厚情に対し、略儀ながら書中をもって御礼申し上げますとともに、皆様のますますの御発展をお祈り申し上げます。

敬 白

令和2年 4月

よつ葉生活協同組合
理事長 倉持 まゆみ 様

福島県知事 内堀 雅雄

組合員さんから、たくさんの温かい「声」をいただいています！
励ましの言葉がスタッフ全員のパワーの源になっています！本当にありがとうございます。
引き続き、安全に、確実に、組合員の皆様に商品をお届けできるよう、よつ葉全体で取り
組んでいきます。

いつもお世話になっております。
いつも安心安全な食料を供給してくださりありがとうございます。
こういった事態が起きて、安心安全なものを届けてくださるよつ葉生協さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。世の中がこういう事態になり、あらためてそのありがたさを日々かみしめております。

色々な意味で厳しいご時世。最近では商品数が少なくなった感じもあり、少々心配もあるのですが、非力ながら、応援しております。
今後ともよろしくお願い致します。
(太田地区 E・Nさん)

いつもお世話になっております。
外出自粛の今、よつ葉さんにとっても助けられています。色々ご苦労があると思いますが、これからも頼りにしていますのでみなさんもお体に気を付けてお過ごしください。
(宇都宮地区 T・Mさん)

緊急事態宣言が出てしまいました。
配送の後藤さん、スタッフのみなさんお気をつけて下さい。いつもありがとうございます。
(館林地区 E・Yさん)

どんな時も配達くださって、ありがとうございます。
(結城地区 A・Mさん)



大変な時期に本当にありがとうございます。
感謝でいっぱい！朝夕寒暖差が激しい季節柄、みな様どうぞご自愛くださいませ。
(館林地区 Y・Aさん)

コロナで大変ですが助かっています。ありがとうございます。
入っておいて良かった(^_^) 皆さんご自愛ください。(日光地区 N・Mさん)

ニュースで東京の生協宅配が注文殺到していると知りました。よつ葉でも同様のことが起らないよう、必要な量だけ注文したいと思います。
協力できること等あれば皆さんに周知して下さい。よりお忙しくなるとは思いますが身体に気をつけて、よろしくお願ひします。
(足利地区 T・Kさん)

ありがとう。
(足利地区 Y・Tさん)



いつもお世話になります。注文数が増えてお手数をおかけしております。おかげ様で仕事帰りにお店に寄らなくてすみ助かっています。
配送の方も荷物が多くなり負担が大きくなり大変だと思います。ありがとうございます。
感謝しております。(小山地区 H・Mさん)

いつも配達ありがとうございます。とても助かっています。このような時期なので、お体にはくれぐれも気をつけてお仕事頑張ってください。
これからもよろしくお願い致します。
(那須塩原地区 N・Iさん)



<よつ葉だより休刊のお知らせ>

ゴールデンウィークの間、印刷屋さんお休みのため、5月11日のよつ葉だよりは、お休みさせていただきます。よろしくお願い致します。



東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告 (4月4週分)

ご協力ありがとうございます。
組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位：円)

放射能から子どもを守る募金 (900番)	7,500
震災孤児を支援する募金 (910番)	15,900
「有機農業と国産種子」募金 (920番)	6,000
合計	29,400

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。
WEB注文の場合は、左側【企画商品】内の【復興支援募金】をクリック。
一口100円の募金になります。

よつ葉太陽光発電報告

○2020年2月27日から3月26日(29日間)の太陽光発電量は、16,823kWhでした。CO2削減量は5,291kg(18Lの灯油缶を222本燃焼した量)です。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <http://yotsubacoop.jp/>

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yahoo.co.jp

